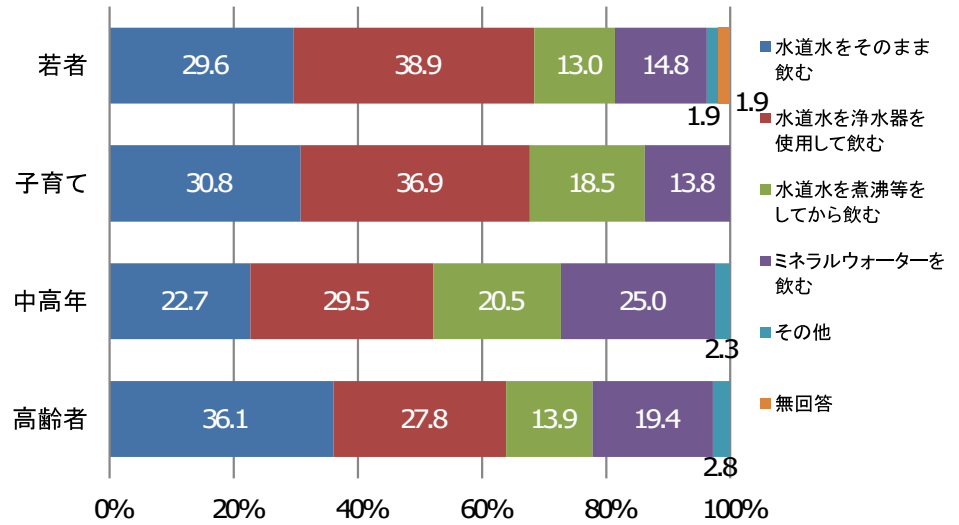
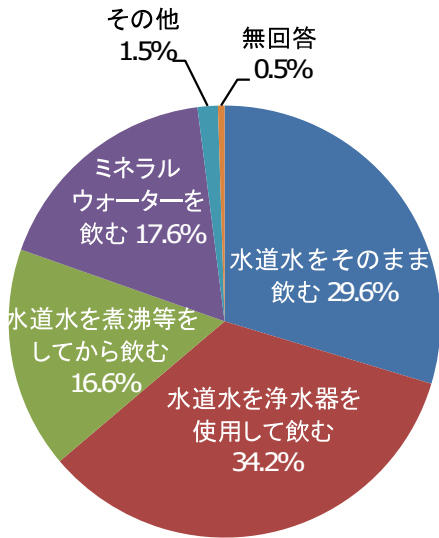


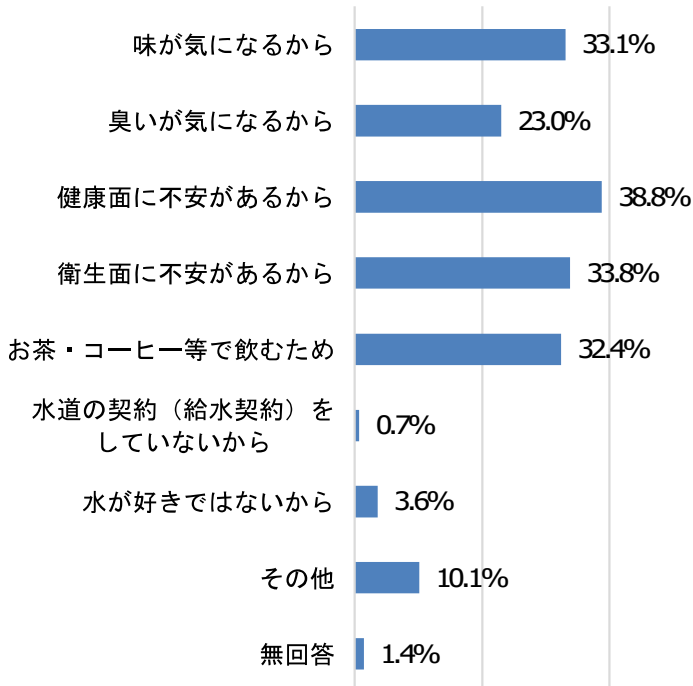
＜上下水道に関する取り組みについて＞

■ 問1 飲料用の水は何を飲んでいるか (n=199)



- 飲料用の水は何を飲んでいるかについては、「水道水を浄水器を使用して飲む」が約3割と最も多く、次いで「水道水をそのまま飲む」も約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「水道水を浄水器を使用して飲む」が、高齢者では「水道水をそのまま飲む」が最も多い回答となっています。

■ 問2 水道水をそのまま飲まない理由 (問1で「2~5」と回答した方) (n=139 複数回答)

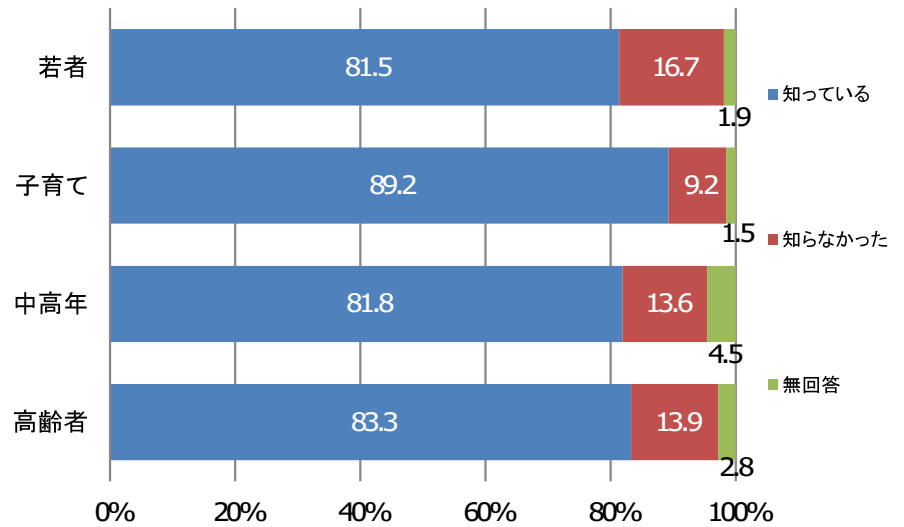
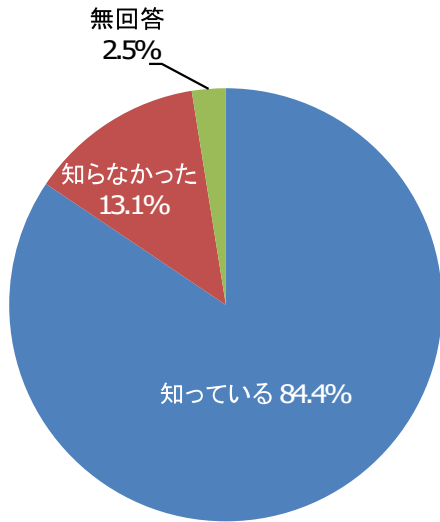


(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
味が気になるから	32.4	26.7	35.3	43.5
臭いが気になるから	16.2	24.4	17.6	39.1
健康面に不安があるから	48.6	33.3	38.2	34.8
衛生面に不安があるから	48.6	33.3	23.5	26.1
お茶・コーヒー等で飲むため	24.3	31.1	35.3	43.5
水道の契約(給水契約)をしていないから	-	-	2.9	-
水が好きではないから	2.7	4.4	5.9	-
その他	8.1	11.1	14.7	4.3
無回答	2.7	2.2	-	-

- 水道水をそのまま飲まない理由については、「健康面に不安があるから」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「健康面に不安があるから」と「衛生面に不安があるから」が、中高年では「健康面に不安があるから」が、高齢者では「味が気になるから」と「お茶・コーヒー等で飲むため」が最も多い回答となっています。

問3 水道水には水道法による水質基準※があることの認知度 (n=199)

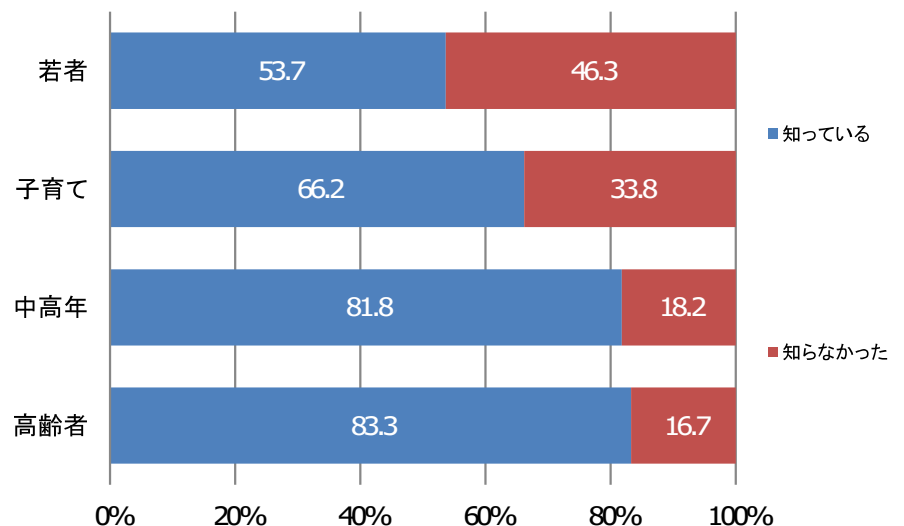
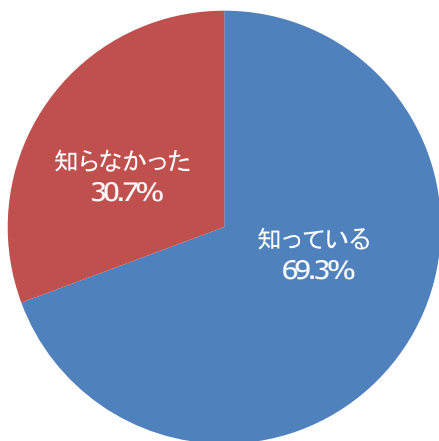
※ 水道水には、人の健康への影響や生活利用上の支障がないよう設定された51項目に及ぶ検査が義務付けられている。



- 水道水には水道法による水質基準があることの認知度については、「知っている」が約8割となっています。
- 世代別にみると、「知っている」が若者・中高年・高齢者では約8割、子育てでは約9割となっています。

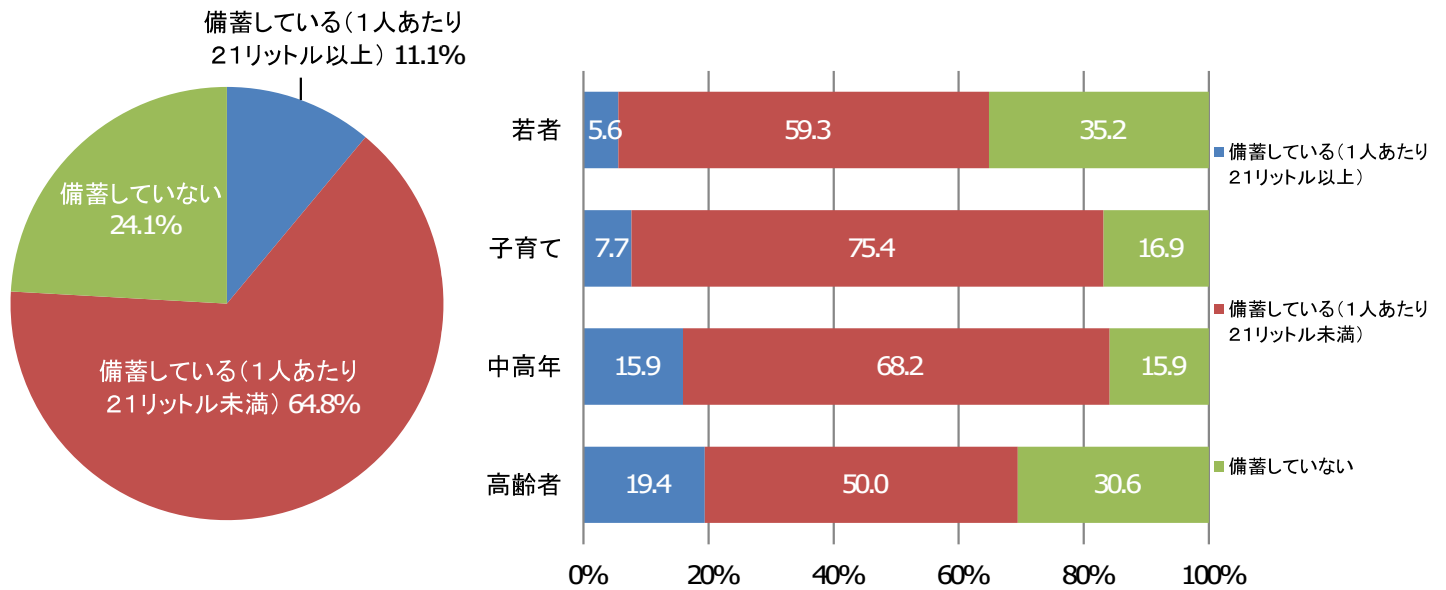
問4 災害時の飲料水の必要備蓄量※の認知度 (n=199)

※ 災害時の飲料水: 1人1日あたり3リットル×7日分=21リットル



- 災害時の飲料水の必要備蓄量の認知度については、「知っている」が約7割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「知っている」の回答割合が高くなっています。

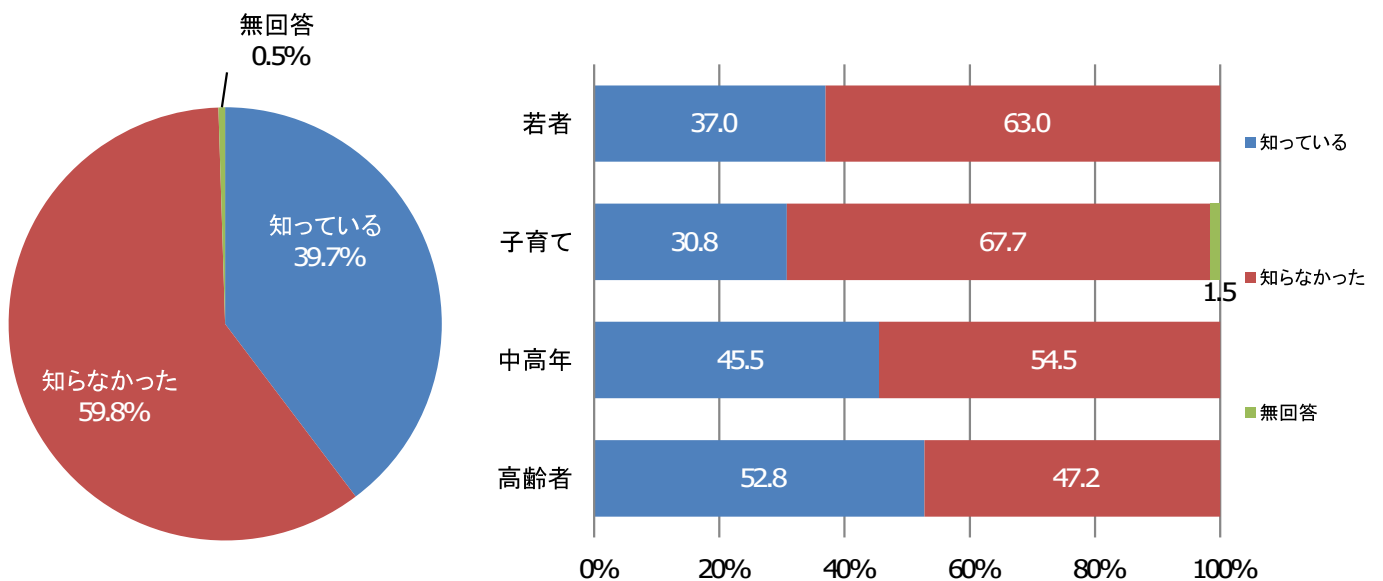
問5 災害用として飲料水を備蓄しているか (n=199)



- 災害用として飲料水を備蓄しているかについては、『備蓄している』(「備蓄している(1人あたり21リットル以上)」と「備蓄している(1人あたり21リットル未満)」の合計)が約8割となっています。
- 世代別にみると、『備蓄している』が若者では約6割、子育て・中高年では約8割、高齢者では約7割となっています。

問6 災害後、水が濁っている場合やトイレが正常に流れない場合などにとる行動※の認知度 (n=199)

※ 水が濁っている場合は屋外の蛇口などで濁りが取れるまで出し続けることや、トイレが正常に流れない場合は携帯トイレを使用することなどを市公式ホームページで紹介している。

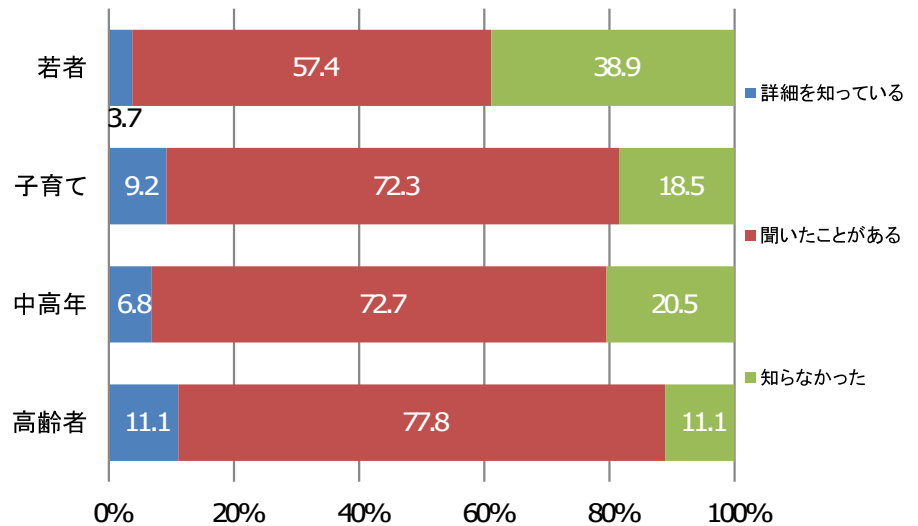
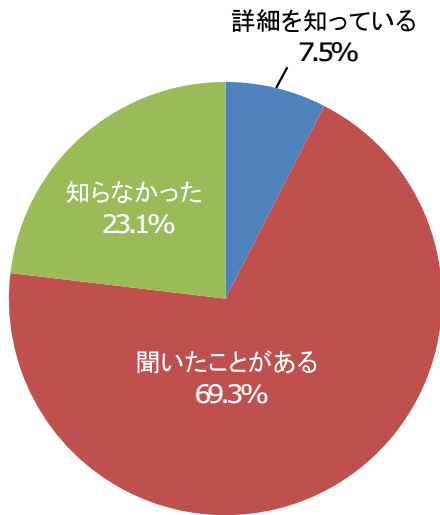


- 災害後、水が濁っている場合やトイレが正常に流れない場合などにとる行動の認知度については、「知っている」が約4割となっています。
- 世代別にみると、「知っている」が若者では約4割、子育てでは約3割、中高年・高齢者では約5割となっています。

問7 水道管や下水道管の老朽化※に伴い管が破損することにより、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていること認知度

(n=199)

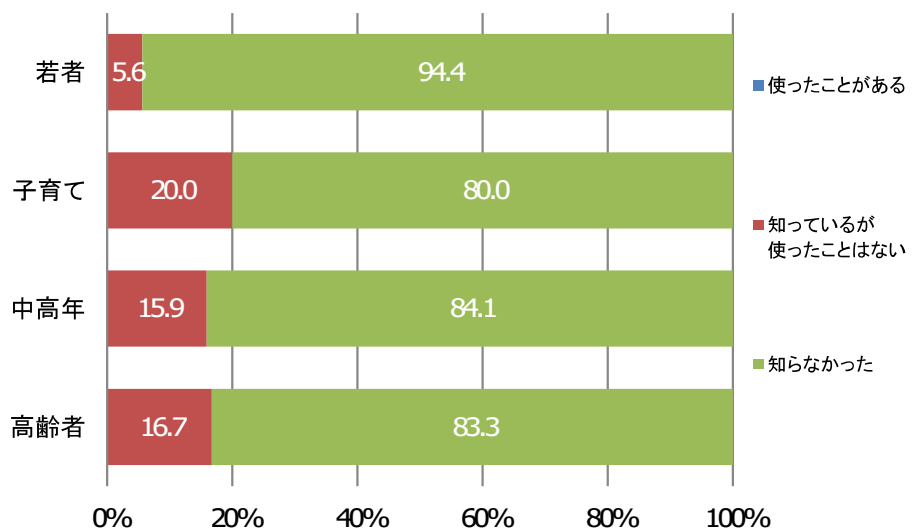
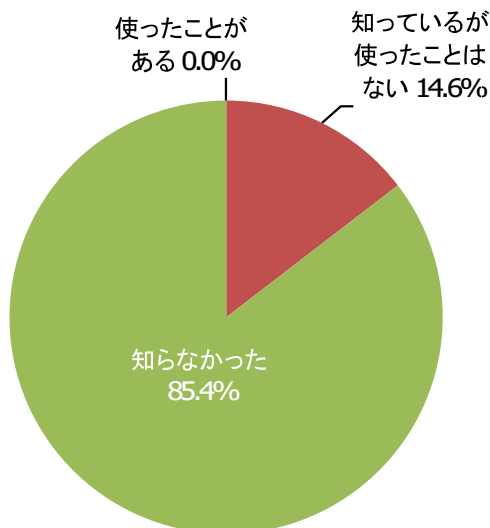
※ 水道は給水開始から92年、下水道は通水開始から57年が経過しており、今年8月には西区伊左地町の水道橋で老朽化による漏水事故が発生し、全国的なニュースになった。



- 水道管や下水道管の老朽化に伴い管が破損することにより、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていること認知度については、『知っている』（「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計）が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合がおおむね高くなっています。

問8 浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」※で浜松市の上下水道について調べられること認知度 (n=199)

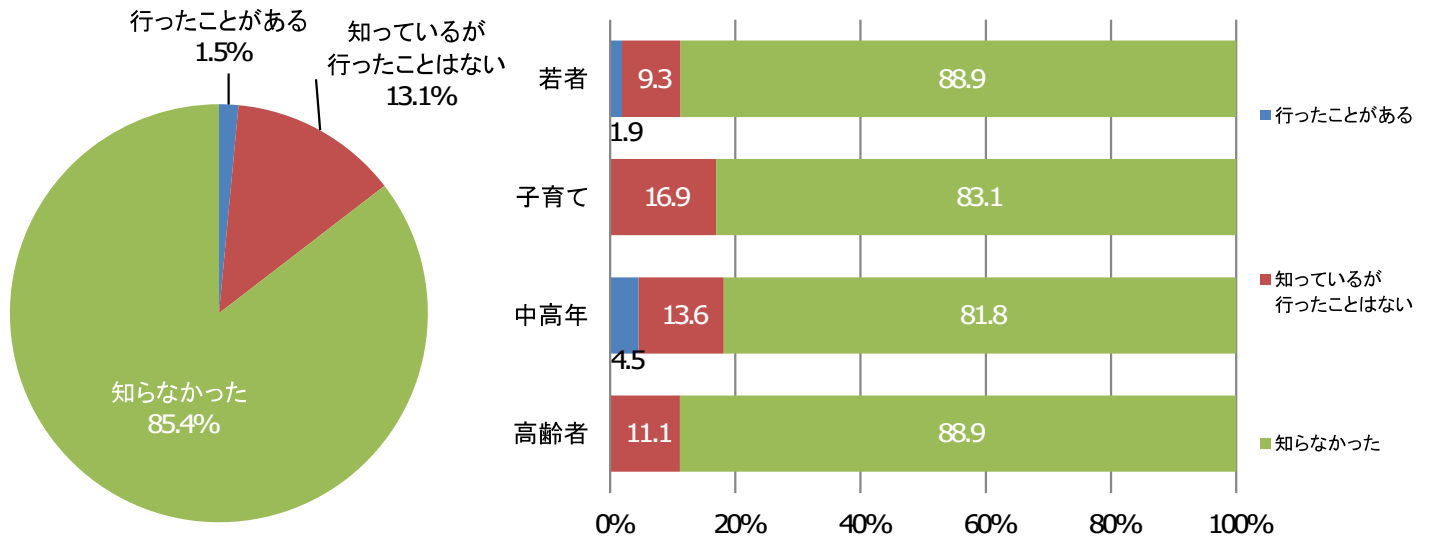
※ チャットボット「手続きQ&A」とは、市民からの問い合わせが多い質問に対し、24時間365日、自動応答で簡易な回答を表示するとともに、詳細が記載されたホームページを案内する機能のこと。



- 浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」のチャットボット「手続きQ&A」で浜松市の上下水道について調べられること認知度については、『知っている』（「使ったことがある」と「知っているが使ったことはない」の合計）が約1割となっています。
- 世代別にみると、『知っている』が若者では1割未満、子育て・中高年・高齢者では約2割となっています。

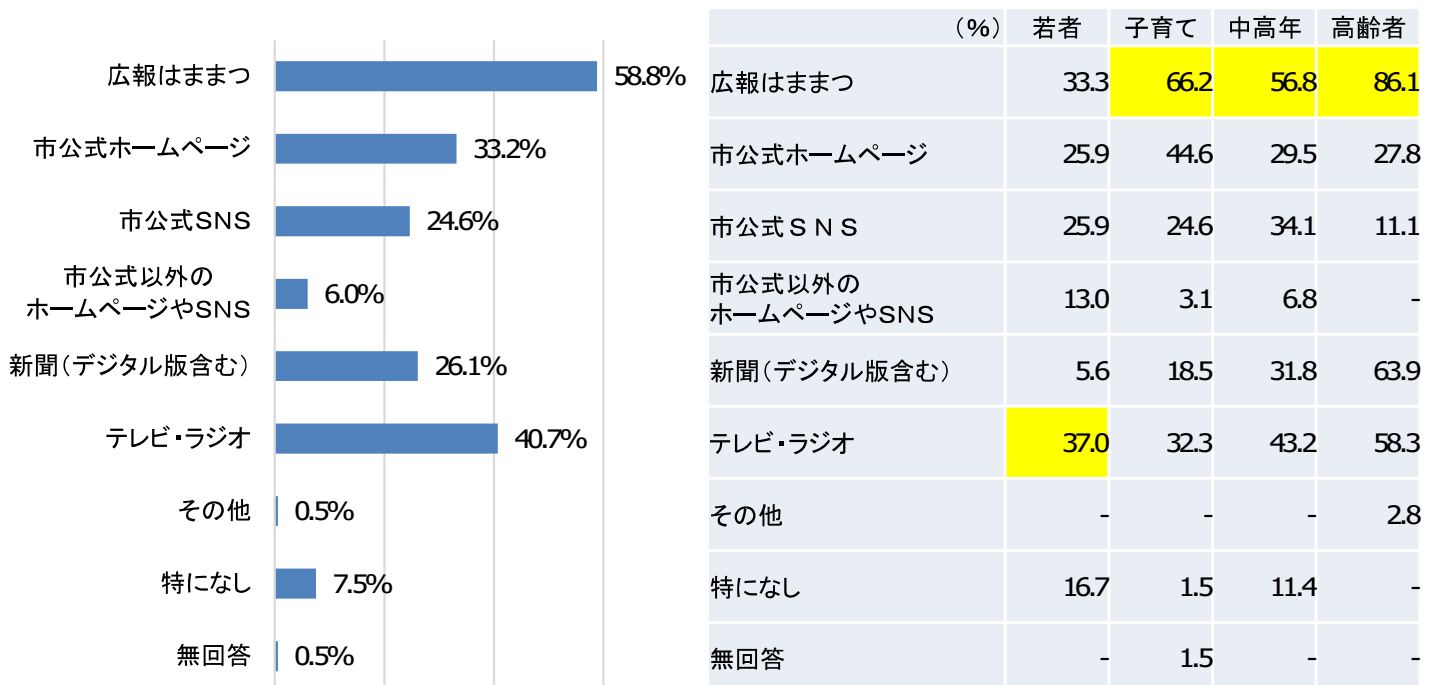
問9 「上下水道フェスタ」※の認知度 (n=199)

※上下水道部の取り組みを紹介するイベントで、今年度は9月3日にイオンモール志都呂にて開催。



- 上下水道フェスタの認知度については、『知っている』（「行ったことがある」と「知っているが行ったことはない」の合計）が約1割となっています。
- 世代別にみると、『知っている』が若者・高齢者では約1割、子育て・中高年では約2割となっています。

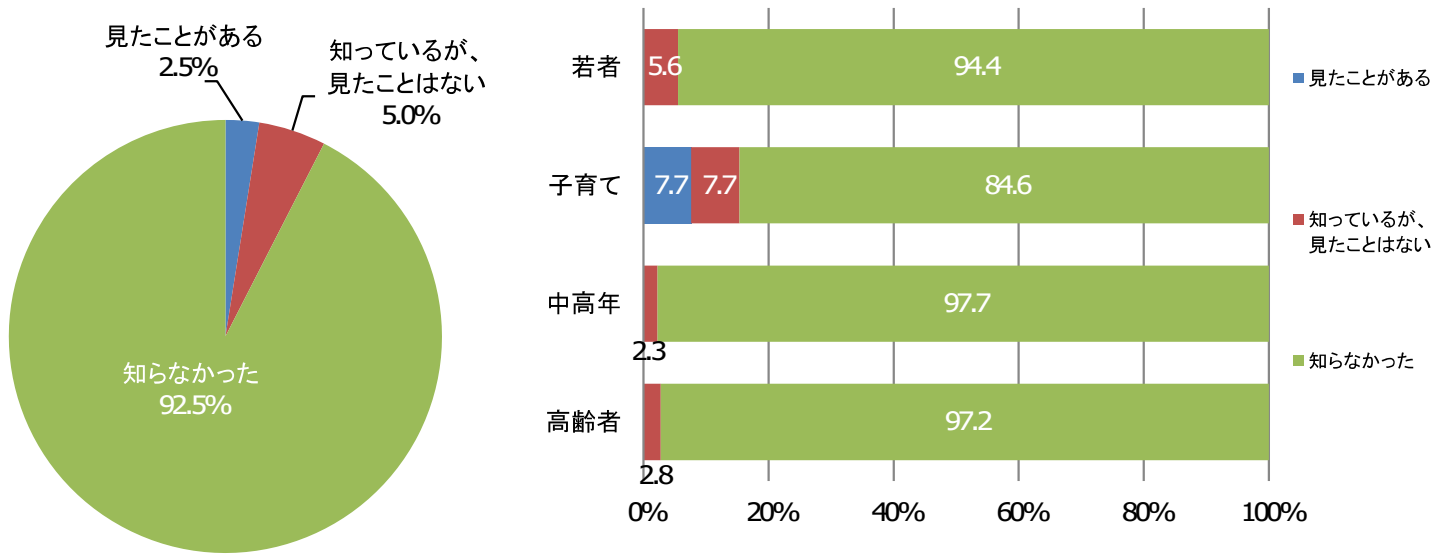
問10 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体 (n=199 複数回答)



- 上下水道に関する情報の入手手段として利用したい媒体については、「広報はままつ」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者では「テレビ・ラジオ」が、子育て・中高年・高齢者では「広報はままつ」が最も多い回答となっています。

問11 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」※の認知度 (n=199)

※ 浜松市の水道・下水道について子供が楽しく学べるウェブサイトで、大人も楽しめる内容になっている。



- 浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」の認知度については、『知っている』（「見たことがある」と「知っているが、見たことはない」の合計）が約1割となっています。
- 世代別にみると、『知っている』が若者では約1割、子育てでは約2割、中高年・高齢者では1割未満となっています。